

<別紙> 情報提供様式

①事例名	
にこにこにつか(第1、第3水曜日、13:00 完全下校)の導入と職員室の席替えの実施	
②学校名	
豊郷町教育委員会(豊郷小学校、日栄小学校、豊日中学校) 連絡先 0749-35-8131	
③取組分野(複数選択可)	
☒ 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例 ☒ 勤務時間の意識づけに関する取組 ☒ 教育課程等(授業時数の点検、日課表の見直し、カリキュラム、教科担任制、行事の精選等)に関する取組 ☒ 環境整備(民間施設の活用、職員室のレイアウト変更、留守番電話、備品管理等)に関する取組 ☒ ICT活用(自動採点、成績処理、Webによるアンケート、ファイルサーバの共有、連絡ツール等)に関する取組 ☒ 部活動(外部人材、地域連携・地域展開、実施日・終了時刻変更等)に関する取組 ☒ 事務職員の活用に関する取組	
④直面していた課題(取組前の様子)	
・勤務時間外の電話対応が多かった。→ 令和6年4月から留守番電話を導入した。 ・退勤時間が遅い教員が多かった。→ 勤務時間を意識するために、タイムカードを導入した。 ・職員室内の空気がマンネリ化することがあった。→ 学期に1回職員室の席替えを実施。 ・紙でのアンケートを集計するのが大変だった。→ デジタルでアンケートを実施、集計した。 ・各学年での学年費の徴収等の事務処理が煩雑であった。→ 事務職員が一括して担当することで学年担当の負担が減るとともに、学期末の点検作業も簡素化された。	
⑤在校等時間の縮減に向けた具体的取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付
①町全体で、毎月第1第3水曜日を午前日課とし、給食後13:00 完全下校としている。その日の午後は原則会議等を入れず、職員個人の仕事に専念し、定時退勤をしている。 ②学期に1回職員室の席替えを実施 小学校では、職員間のコミュニケーションの活性化を狙い、ベテランと若手を近くの座席にするなど、管理職が座席を決定している。 中学校では、学年団で相談し、学年団の中でのみ席替えをしている。	13時から17時までの4時間 ×月2回×12ヶ月＝96時間 自分を高める有意義な時間に！！  あなたの「にこにこにつか」 どのように過ごしますか？ 美術部のみなさん！ ステキなのほり！ ありがとうございます！
⑦取組の成果	
① ・職員の退勤時間に対する意識が高くなると、退勤しやすい雰囲気が出てきた。 ・月に2回ではあるが、午後の時間を自分の仕事に使えるのでとても助かっているという声が多数。 ・定時退勤ができる日という意識が職員の中に出てきた。 ② ・座席を替えると、職員室全体の雰囲気が変わりリフレッシュする。また、違った職員同士のコミュニケーションも生まれ、組織の活性化につながっている。 <u>成果のポイント</u> ・職員全員が意識する雰囲気を作る。	